

# 笑顔

光井中学校  
教務通信  
第23号  
2021年(令和3年)

11月19日 金曜

## 小中一貫「光井学園」

「光井学園」をご存じでしょうか。光市には五つの市立中学校と十一の市立小学校があり、各中学校区を一つのまとまりとして、九年間の積み重ねやつながりを大切にした教育活動に取り組んでいます。これを小中一貫教育といいます。そしてその校区単位のまとまりを「〇〇学園」と名付けています。つまり「光井学園」とは小中一貫教育を行う光井小と光井中のまとまりを指しています。



3A 参観授業

小中一貫教育の充実のために、さまざまな取組を行っています。その一つとして小中教職員の合同研修を行っています。十一月十七日(水)に光井中学校を会場に、今年度二回目の授業研修会が開催されました。1A、3Aの道徳の授業を参観し、その後研究協議を行いました。1Aでは、「自分だけ『余り』になつてしまう」という読み物教材で、お互いを認め合うことについて学びました。3Aでは、「世界を動かした美」というオーディリー・ヘプバーンの生き方を描いた読み物を通して自分の生き方について考えました。どちらの授業においても、ICT機器を活用して自分の意見を整理したり、話し合い活動で考えを深め合ったりと、積極的に活動に取り組む生徒たちの姿が見られました。

また、今回の研修会では、小中の教職員だけではなく、学校運営協議会員や保護者の方からもご参加をいただき、教員とは違う視点での意見やご指摘をいただきました。今後も、地域、保護者の皆様とともに「光井学園」での学びの充実に取り組んでいきたいと考えております。



1A 参観授業

### 伝統芸能への誘い

十一月十八日(木)に芸術鑑賞会が行われました。一般社団法人義太夫協会より演者の方をお招きして、義太夫節の公演を鑑賞しました。

演目「戻り橋」を鑑賞した後、義太夫節風にアレンジされた校歌を聞きました。普段聞き慣れ歌い慣れている校歌の義太夫節風アレンジに、生徒たちは

興味津々で聞き入っていました。演目「菅原伝授手習鑑『車曳の段』」では、三年生の代表生徒十名がステージに上がり、十月のワークショップで練習した義太夫の語りを披露しました。みんな堂々と演じきり、演者の方からも称賛のお言葉をいただいています。また、生徒全員で義太夫節の「大笑い」と「口上」にもチャレンジしました。演者の方の軽妙な司会で場の雰囲気もどんどん盛り



三味線に合わせた語り

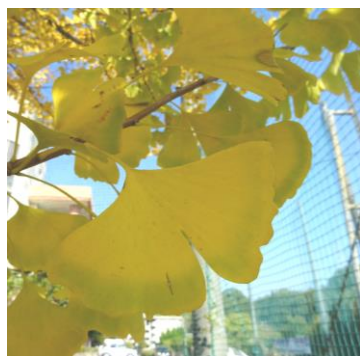
り上がり、体育館いっぱい光井中生徒の義太夫節が響き渡りました。今の世の中、テレビやスマホなどを通してさまざまなコンテンツを手軽に楽しむことができます。しかしながら、日本の歴史に育まれてきた伝統芸能にじかに触れ、その息づかいを感じ取ることで、生徒たちは文化、芸術の素晴らしさを再確認してくれたのではないのでしょうか。

### 光井中百景 その二十二

前号で校地内の樹木の色づきを紹介しましたが、今週に入り朝夕の冷え込みがぐっと厳しくなり、木々の色づきも足をはやめたようです。校庭の一隅に立つ銀杏の木も日の光を浴びて黄金色に輝いています。

金色のちひさき鳥のかたちして  
銀杏ちるなり夕日の岡に

与謝野晶子



校庭のいちょう